



発行：風の松原に守られる人々の会 事務局：郵便番号016-0102 秋田県能代市一本木80-2 佐藤幸雄方 電話0185-58-3089

会設立からの歩み

今号には平成18年9月から今年3月までの活動を記録しました。見出し番号は創刊号からの通し番号です。

69 男鹿市の松枯れ現況視察

当会が講座の内容立案から講師まで全面的に協力してきた全11回の「風の松原ガイド養成講座」のうち、第8回目「松枯れ地区現地視察」が9月20日に行われた。

当日はクロマツの墓場と化した松枯れ現場である入道崎や宮沢海岸の惨状と、松くい虫重点防除地区となつて成果を上げている旧八竜町の様子を視察した。



ような状態といっても過言ではなかった。

旧八竜町(写真右)のクロマツの濃い緑を見て、ようやく一安心したというのが参加者の偽らざる心境であった。風の松原を守るために、これまでよりも一層頑張らなければならないと思った。



左の写真は男鹿市入道崎だが、男鹿半島全体がこの

70 県有林低木除去作業

9月21日と22日に港湾道路からロケットセンターへ向かう道路両脇の雑木除去作業を実施。初日はイタチハギ等の雑木の伐採と結束及びゴミや空き缶拾い、参加者11名。二日目はトラック積み込み作業9名。

71 コウヤマキの樹種名札取り付け

9月6日に誕生した秋篠宮の長男悠仁さまのお印「高野槇」が、風の松原にもある。場所は池の付近あづまや前。

9月18日朝この木を見上げている人たちがいた。周囲のサルスベリやホオノキ、アカイタヤ、イチイには名札がついているのに、この木には樹種名札がないという。そこで早速取り付けてもらった。



72 ニセアカシア萌芽撃退作戦 (第3回)

10月5日に今年度第3回、通算6回目のニセアカシア萌芽撃退作戦を実施。今回の実施箇所は休養広場あづまや後ろ側。



ニセアカシアや雑木が繁茂しており、ジョギングコースから健康づくりのみちのウッドチップがほとんど見えなかったが、今回の作戦の結果、林内の見通しが良くなった。

ちょうど歩こう会の一行があづまやで休憩中、激励を受けながらの作業となった。参加者14名。

73 エコタウンフェスタ in 能代

10月20日～22日、新能代市誕生記念として産業フェアと同時に開催されたエコタウンフェスタ in 能代では、「持続可能な社会に向けたわたしたちの取り組み」活動発表として、おとも自然の会、ルーペの会とともに当会も活動発表を行った。活動発表は、「地域住民が主体となった松くい虫被害対策の事例」というテーマでスライドを用いて鷲尾会長が



発表。また「守ろう風の松原」というパネル展示も行った。上の写真はパネル展示の一部。

74 今年も修学旅行ガイド

昨年千葉県立千城台高校の修学旅行ガイドを担当したが、今年は千城台高と都立板橋高の2校が能代山本を訪れた。10月2日能代山本を訪れた都立板橋高の生徒は110名、うち20名がいこいの広場で「きりたんぼづくり」を体験したあとに風の松原を散策、3名の当会員がガイド。

10月23日には千城台高236名が能代山本を訪問、114名が風の松原に。7名の会員がガイドを担当。両日も月曜日のため水洗トイレの確保に苦労。23日はとても寒く、

降雨など悪天候の中でのガイドご苦労様でした。

コースは大森橋と大森稲荷鳥居の間をいこいの広場や蟻地獄を入れて数コースに分けて工夫した。時間は60分～75分。いこいの広場でのタンポ会は好評。ガイドや食事係との秋田弁での交流が最大のポイントとなった。

はじめは突っ張っていた生徒も、ガイドとの交流の中で会話が弾み、真剣になったと添乗員も驚いていた。

75 市長との対話

10月30日当会が『市民の皆さんとランチで対話』に参加。鷲尾会長ほか7名が出席し、500円の弁当(市役所食堂製)を食べたあと鷲尾会長が当会の活動の概略を説明し、市長への要望項目を述べた。

その内容は、①松原に対する市の姿勢、②風の松原に積極的に関わってほしい、③一緒に風の松原を歩いてみませんか、④観光資源として積極的に取り組んでほしい、⑤案内板や標柱等の手入れをしてほしい、⑥いこいの広場やいこいの水辺周辺のより一層の整備を、⑦緑の回廊事業への参加等。

市長さんは、「会長さんから10項目ほどのお話があったが、①については「風の松原は市民が守り育ててきた



ものである」というのはそのとおりである。②は森林管理署が管理する部分があるが、市の3課で管理

する部分については積極的に関わっていききたい。⑤はこの要望がわかった時点で担当部門と協議している。出来るだけ早い時点で予算化していききたい。⑥危険な遊具については速やかに撤去させたい。⑦については、こういう事業を使って風の松原を守り育てていききたいと考えている。事業に該当しなかった場合でも風の松原に力を入れていききたい。」等のお話があった。

そのほか窓口の一本化については、風の松原に関係する市の部門は3課あるが、連絡・要望は農林水産課(電話89-2184)に話せばよいこととなった。

また防火訓練の実施等についても要望した。

76 象潟「九十九島の松を守る会」

11月9日午後、にかほ市象潟から「九十九島の松を守る会」の人たち約30名が風の松原視察に来て交流した。

サン・ウッド前からアリ地獄に入る辺りにはニセアカシアの大木も多い。視察者の1人は「なぜニセアカシアを切らないのですか?」と不思議そうに話していた。

また、健康づくりのみちの位置標識については「この

標識には矢印があるように見えるので、示している場所がどこを指しているのか判りにくい」との声があった。見慣れている人には当たり前前のことでも、わかりやすくする配慮が必要だと感じた。



77 平成18年度生活環境保全林整備事業

生活環境保全林整備事業の素案が示されたことを受けて本会では11月17日に独自に下見を実施、また22日には森林管理署の説明を受けて再び現地を視察、12月6日には前回行か

なかった衰弱木等の除去をする区域中心に再度の下見を実施した。

なお、今年度は日和山方角石の近くに新あづまやが建ち、送電線跡地にクロマツ等が植栽されるなど整備が進んでいる。



78 松原近くの木材工場で火災

2月3日午後7時45分頃、能代消防署の大サイレンが鳴った。火災は大森橋近くの木製品製造工場。集塵小屋を全焼したほか隣接工場



の一部外壁などを焼いて鎮火した。

79 松原内にトイレがほしい

1月中旬、松原内でゴミ拾いをしている時に年配の婦人から「松原を散策していて急にトイレに行きたくることが多くなった。いこいの広場でトイレを済ませたと健康づくりのみちを歩いている時にも不安だ。」とのこと。休養広場近くにトイレを設置出来ないだろうか。

80 新版「風の松原案内」のマップ発行

本会では2002年3月に秋田県の助成を受けて「風の松原中心部散策マップ」を作成し、松原に関するイベントで配布してきましたが、10月のエコタウンフェスタで使



い切りました。そこで今回はA4判三つ折りで携帯に便利な「風の松原中心部案内図」を作成しました。どうぞご利用ください。